

About Blend

Blendとは？

- 自分の研究も、GIの視点から考えてみたい。
- 自分の組織でも、GIが進む環境をつくりたい。
- 誰もが科学技術の恩恵を受けられる社会を創りたい。

※GI=ジェンダー・イノベーション

そんな仲間が集うのが「Blend」です。



研究アイデアソンとは？

GIを知りたい。でも…

- 仲間がいない
- 時間がない
- 知識がない



そんな声から生まれました。学ぶだけで終わらず、対話のなかで自分の研究をGIの視点でリデザインし、「実践」につなぎます。

スカラシップ生

約3ヶ月／全5回 オンライン 募集
年2回開催 最新情報は公式LINEより。

Program Example

プログラムの例

- 第1回 仲間と知り合う**
お互いの研究内容やGIに対する思いを共有
- 第2回 GIへの招待**
GIとは何かをディスカッションし、自身の研究との接点を考える
- 第3回 SFプロトタイピング**
現実の制約を取り払い、自由な製品・技術を考えて「誰のため」を問い直す
- 第4回 クロスリサーチ**
分野の異なる研究者とペアになってお互いの先行研究を、GIの視点から探す

実践
報告会 プログラムの集大成として、
自分の研究・行動計画を発表!

対象

- 研究・開発にかかわる方で、
- ジェンダー・イノベーションを研究に取り入れたい
 - ジェンダー・イノベーションを実践できる環境をつくりたい
- という方。学部～博士課程の学生や、キャリア初期※の研究者を主な対象とします。

※キャリア初期は学位取得後おおむね5年以内が目安。
中断期間がある場合はこの限りではありません。年齢・性別・所属は問いません。

対話が、

待っています。



隠岐さや香 先生



佐々木成江 先生

ガーディアン

第一線で活躍する、多様な分野の先生方が、
皆さんの実践を後押ししてくださいます。
掲載の先生方は、これまで関わってくださった先生方です



鶴田想人 先生



孫輔卿 先生

参加者の声

K.Mさん (東京大学 URA)

参加してすぐに、視野が広がった感覚を持ちました。ジェンダー・イノベーションの視点でさまざまな研究をチェックしてみると、まだまだいくらでも研究を深める余地が見えてきます。

K.Rさん (慶應大学 学部2年)

グループワークでは、皆さんから鋭い視点で何度もフィードバックや意見をいただき、研究への姿勢や問題意識の持ち方など、多くの刺激を受けました。特に自分の専門性を社会的文脈の中でどう活かすかを考える姿勢に触れ、研究者としてのロールモデルを見つける貴重な経験となりました。

A.Aさん (東京大学 修士課程)

自然科学的な自身の分野が数字を中心に物事を考えていることに対し、心理的・社会的な要素をいかに組み込むかということは自身のみならず、分野にとっての将来的な大きなテーマであると感じました。